

第18回 筑豊地域救命救急研究会での講演



平成28年7月9日（土）、筑豊地域救命救急研究会、筑豊地区4消防本部様のご依頼にて、「救急隊の皆様との連携を深め、認知症の方々を地域で支えていく～一人で抱えこまないために～」という演題にて、サンシャインかいたにて、お話しさせて頂く機会を与えて頂きました。

当日は救急隊の方を始め、飯塚医師会 松浦会長、田川医師会 百武理事、直方鞍手医師会 菅原副会長、総合病院の看護師、事務の方など137名の方が参加されました。

私のお話しの中では、福岡県認知症医療センターの現状や役割、改正精神保健福祉法など症例を提示しながら話題にさせていただきました。

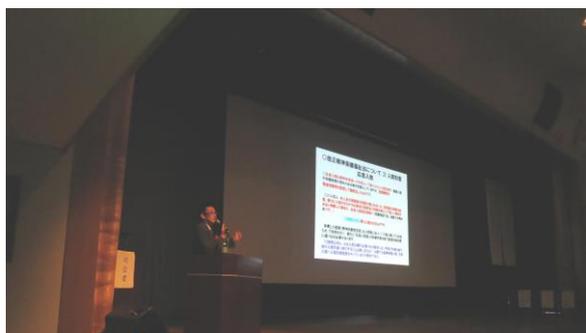
講演後にはコメンテーターであった、飯塚病院特任副院長 鮎川先生、飯塚病院救命救急センター所長 奥山先生に心温まるコメントを頂き、今後の活動への活力となりました。

又、私の講演後は、「熊本地震における緊急消防援助隊としての活動及び検証について」という演題で、筑豊地区4消防本部の消防司令補 秋吉救命士、白瀧救命士、三原救命士、消防士長 片峰救命士による講演では、熊本県益城町における活動を聞かせて頂き、救急隊の方の現状と課題について知る機会となりました。

最後になりますが、今回このような機会を与えて頂き、大変感謝しています。

今後とも、皆様たち一人ひとりと顔の見える関係が作れればと思っています。

当研究会が筑豊で日本一の救命救急医療の礎となりますことを祈念しています。



参加者の皆様、つたないお話しを聞いていただき、本当にありがとうございました。

